慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	戦略とCapability
Sub Title	
Author	寺尾, 千晶(Terao, Chiaki) 浅川, 和宏(Asakawa, Kazuhiro)
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2013
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2013年度経営学 第2858号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002013-2858

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程

学位論文（　2013　年度　）

論文題名

戦略と Capability

主　査	浅川和宏
副　査	岡田正大
副　査	小幡　績
副　査	

2014 年 2 月 27 日　提出

学籍番号	81230620	氏　名	寺尾千晶

論 文 要 旨

所属ゼミ	浅川　研究会	学籍番号	81230620	氏名	寺尾千晶

（論文題名）

戦略と Capability

（内容の要旨）

本論文では、戦略構築者の視点を用い、企業の行う一連の戦略活動が Capability 増大に貢献する構造を理論的に示した。構造内の要素にかかる因果関係の導出を行い、戦略活動が Capability 増大に貢献する上で主要となる要素を抽出した。

さらに、企業インタビューにて、主要な要素について検証および考察を行った。また、これらにより戦略活動によって企業が成長への好循環を得る要因について考究した。

戦略活動が Capability 増大に貢献する上で、主要となる要素の特徴は以下の通り。

構造化①とその因果関係の導出から考えられる、『企業活動や組織機能との一貫性』の特徴。

- 戦略活動から Capability を増大させる key 要素である
- 戦略活動から獲得しようとする Capability の指針となる
- 戦略活動と組織活動を繋ぐ主要要素である

構造化②とその因果関係の導出から考えられる創発性と企業の戦略に係る立証。

- 創発戦略への対応へは、企業の戦略特徴が現れる
- 企業毎の創発性への対応の違いは、企業の戦略に対する趣旨の違いである

企業インタビューによって、構造化①で導いた特徴を満たす要素および構造化②の立証から考察し、導いた結論は以下の通り。

- 創発戦略を有効に取り込み、自社の戦略意図を有意に実現する企業は継続的な成長を果たす
- 戦略意図を指針とした戦略活動は、組織活動と適合性のある価値の獲得と創造によって capability を増大し、企業成長に効果的に貢献する
- 企業は自社の戦略意図に従った戦略活動によって新たな次元を構築し、成長の好循環性を形成する

今後の示唆としては、以下の 3 点を挙げる。

- 企業の経営戦略活動を長期的に追い、戦略意図の違いが導く企業実績の違い
- 戦略意図の継続性と変更する場合の要因
- 創発戦略に対する柔軟性が企業成長に及ぼす影響